

# The World of Ballet Movies

Kamakura, the birthplace of Japanese ballet

企画展

# バレエ映画の世界

日本バレエ発祥の地・鎌倉

2020.12.18(金)～2021.3.14(日)

企画展観覧料 一般：200円(140円) 小・中学生：100円(70円) \* ( )内は20名以上の団体料金

鎌倉市川喜多映画記念館



1948年に製作されたイギリス映画『赤い靴』の大ヒットによって、世界中の少女たちがバレエ教室に殺到しました。各地でバレエブームが巻き起こる中、主演のモイラ・シアラーは一躍脚光を浴び、少女たちの憧れの存在となります。舞台を実際に見ることがまだ一般的ではなかった時代に、映画の影響力は計り知れないものがありました。

日本でも『赤い靴』（1950年公開）はバレエブームの火つけ役となりましたが、そもそも日本におけるバレエ文化の始まりは、1919年に来日したロシア出身のバレリーナ、エリアナ・パヴロバが鎌倉にバレエスクールを開校したことに端を発します。その後、妹のナデジダや門下生たちへと受け継がれ、発祥地・鎌倉から全国へと広がっていきました。本展ではエリアナの没後80周年を記念して、日本におけるバレエ隆盛の礎を築いたパヴロバ姉妹の足跡を辿ります。

また別のコーナーでは、『赤い靴』『愛と喝采の日々』などのバレエを主題とする名作映画や、モイラ・シアラー、シド・チャリシー、レスリー・キャロンなどバレリーナ出身の映画女優が出演する作品を取り上げ、その魅力をご紹介します。



パヴロバ姉妹  
左：姉エリアナ  
右：妹ナデジダ



撮影：山崎あゆみ

エリアナ・パヴロバのトウシューズ

# The World of Ballet Mo



バレエスクールの前に広がる七里ヶ浜の浜辺で踊る生徒たち

## 企画展

# バレエ映画の世界

## 日本バレエ発祥の地・鎌倉

展示協力：  
NPO 法人古き良き文化を継承する会/  
鎌倉市(エリアナ・パヴロバ遺品)/国立映画アーカイブ/  
大山恭彦氏/川島京子氏/鈴木晶氏

## Talk Event

2021.1.13(水) 14:00～

### 『赤い靴』からはじまる バレエ映画の魅力

ゲスト：鈴木晶さん(法政大学名誉教授)

一口に“バレエ映画”と言っても、主人公がバレリーナの設定であるものから、プロのダンサーあるいはバレエ経験のある映画女優が踊っている劇映画、バレエの公演を収録したドキュメンタリー、映画用にバレエ公演を振付・演出した作品にいたるまで、さまざまなものがあります。そのほか伝説的な舞踊家の伝記映画やミュージカル映画などにもバレエシーンは登場します。こうした「バレエ」と「映画」の多面的な関わりとその魅力を、長年にわたりバレエ史研究に従事されている鈴木晶さんに語っていただきます。

料金：一般1200円、小・中学生600円 チケット発売日：2020.12.5(土)



『赤い靴』パンフレット

## Talk Event

2021.2.23(火・祝) 14:00～

### 没後80年 エリアナ・パヴロバと 日本バレエ発祥の地・鎌倉

ゲスト：川島京子さん(跡見学園女子大学准教授)

ロシア革命を逃れて来日したエリアナ・パヴロバは、関東大震災の直後から鎌倉・七里ヶ浜に住み、多くの門下生にバレエの魅力を伝えました。現代の日本バレエを支える舞踊家のほとんどが、「パヴロバ・バレエスクール」から派生していると言えるほど、エリアナ・パヴロバの日本における活動は重要なものです。トークイベントでは、「日本バレエの母」と親しまれたエリアナ・パヴロバ没後80周年を記念して、パヴロバ研究の第一人者である川島京子さんにお話しいただきます。

料金：一般1200円、小・中学生600円 チケット発売日：2021.1.16(土)



エリアナ・パヴロバ《瀕死の白鳥》

## 赤い靴



1.13(水) 10:30  
1.11(月・祝)・14(木) 14:00

国立映画アーカイブ所蔵作品

1948年/イギリス/カラー/136分/35mm  
監督:マイケル・パウエル、エメリック・プレスパーガー 出演:モイラ・シアラ、アントン・ウォルブルック、マリウス・ゴーリング  
アンデルセンの童話「赤い靴」をもとにしたバレエの主役に抜擢され、一躍スターとなった若きバレリーナの愛憎と悲劇を描いた不朽の名作。主演のモイラ・シアラは当時サドラーズ=ウェルズ・バレエ(現・英国ロイヤル・バレエ)団に在籍していた。

## ロミオとジュリエット



1.11(月・祝)・14(木)・17(日) 10:30  
1.15(金)・16(土)・17(日) 14:00

2019年/イギリス/カラー/95分/DCP  
監督:マイケル・ナン 出演:フランチェスカ・ヘイワード、ウィリアム・ブレイスウェル、マシュー・ポール  
16世紀のイタリア、ヴェローナの街を再現したセット空間で、英国ロイヤル・バレエ団のダンサーたちがドラマティック・バレエの名作を生き生きと踊る、新感覚のバレエ映画。映画ならではの臨場感と、表現力溢れるバレエの振付がどちらも堪能できる。

## イサドラの子どもたち



2.9(火)・11(木・祝)・13(土) 10:30  
2.10(水)・12(金)・14(日) 14:00

2019年/フランス=韓国/カラー/84分/DCP 監督:ダミアン・マニヴェル 出演:アガト・ボニゼール、マノン・カルバンティエ、マリカ・リッジ、エルザ・ウォリアストン  
モダンダンスの始祖であるイサドラ・ダンカンとは異なる自由な舞踊を創出した人物でありながら、その後のバレエダンサーや振付家に多大な影響を残している。彼女の遺したダンス「母」をもとに、100年の時を経て生まれた3篇の喪失と再生の物語を描く。

## モスクワが愛



2.10(水)・12(金)・14(日) 10:30  
2.9(火)・11(木・祝)・13(土) 14:00

1974年/日本=ソ連/カラー/93分/35mm  
監督:アレクサンドル・ミッタ、吉田憲二 出演:栗原小巻、オレグ・ヴィドフ、斉藤真、下條正巳、タチアナ・ゴリコフ  
東宝とモスクワ製作の合作映画で、ポリショイ・バレエ団の全面協力のもと撮影された。単身モスクワに渡った日本人バレリーナとロシア人青年との愛を描く。東京バレエ学校出身の栗原小巻が、ヒロインの百合子役を演じた。

# Views Kamakura, the birthplace of Japanese ballet

## パリ・オペラ座のすべて



1.19(火)・21(木)・23(土) 10:00  
1.20(水) 13:30 1.22(金)・24(日) 14:00

2009年/フランス=アメリカ/カラー/160分/35mm 監督:フレデリック・ワイズマン  
出演:ローラン・イレール、マヌエル・ルグリア、ニコラ・ル・リッシュ  
巨匠ワイズマンが世界最古のバレエ団、パリ・オペラ座取材し、普段は見ることのできない舞台裏に足を踏み入れる。エトワールと呼ばれるトップダンサーの日々の練習風景からスタッフの細かな活動まで、バレエの創作過程を臨場感溢るに映し出す。

## フェリシーと夢のトウシューズ



2.19(金)・21(日) 10:30  
2.16(火)・17(水)・18(木)・20(土) 14:00

2016年/フランス=カナダ/カラー/89分/DCP  
監督:エリック・サマー、エリック・ワリン 出演:(声)エル・ファニング、デイン・デハーン、マディ・ジューグラ  
19世紀のパリを舞台に、踊ることが大好きな少女がオペラ座のバレリーナを目指して奮闘する姿を描いた長編アニメーション。実際のオペラ座バレエ団で芸術監督を務めるオーレリー・デュボンと元エトワールのジェレミー・ペランガールが振付を担当した。

## ダンシング・ベートーヴェン



1.20(水)・22(金)・24(日) 10:30  
1.19(火)・21(木)・23(土) 14:00

2016年/スイス=スペイン/カラー/83分/DCP 監督:アランチャ・アギーレ 出演:ジル・ロマン、エリザベット・ロス、ジュリアン・ファヴロー、上野水香  
天才振付家モーリス・ベジャールが、ベートーヴェンの理念をもとに表現したバレエ作品「第九交響曲」。ベジャール亡き後、再演は不可能とされてきた伝説のステージを蘇らせる、空前絶後の一大プロジェクトに密着したドキュメンタリー。

## ポリーナ、私を踊る



2.18(木)・20(土) 10:30  
2.19(金)・21(日) 14:00

2016年/フランス/カラー/108分/DCP  
監督:ヴァレリー・ミュラー、アンジュラン・ブルジョアージュ 出演:アナスタシア・シェフツォフ、ジュリエット・ピノシュ、ジェレミー・ペランガール  
バンド・デシネ(フランスの漫画)新時代の期待の新鋭バステアン・ヴィヴェスによる同名作品を実写映画化。バレエの道を志していたポリーナが、コンテンポラリーダンスと出会うことで自らの表現を模索し、成長する姿を描く。

## バレエ・ボーイズ



2.2(火)・4(木)・6(土) 10:30  
2.3(水)・5(金)・7(日) 14:00

2014年/ノルウェー/カラー/75分/DCP  
監督:ケネス・エルヴェバック 出演:ルーカス・ピヨルンボー・プレントツ、シーヴェルト・ロレンツ・ガルシア、トルゲール・ルンド  
ノルウェーでプロのバレエダンサーを目指す3人の少年たち。彼らの最も多感な時期である、12歳から16歳までの4年間を追った青春ドキュメンタリー。表現することの喜びと苦しみの中で、未来を見据えて踊り続ける彼らの姿に胸打たれる。

## ホワイト・クロウ 伝説のダンサー



2.3(水)・5(金)・7(日) 10:30  
2.2(火)・4(木)・6(土) 14:00

2018年/イギリス=ロシア=フランス/カラー/127分/DCP 監督:レイフ・ファインズ  
出演:オレグ・イヴェンコ、アデル・エグザルホプロス、セルゲイ・ポルーニン  
激動の時代にソ連で生まれ、ニジンスキーの再来とまで言われた伝説のダンサー、ルドルフ・ヌレエフの半生を描く。タタール劇場の現役プリンシパルとして活躍するオレグ・イヴェンコが主演するほか、バレエ界の異端児セルゲイ・ポルーニンも出演。

### 企画展観覧料

一般 200円 (140円)

小・中学生 100円 (70円)

\* ( )内は20名以上の団体料金 \* 映画鑑賞料金は別途

\* 市内在住65歳以上の方、障がい者手帳をお持ちの方と介助者1名、市内在住・在学の小・中学生は無料

### 映画鑑賞料金

一般 1000円

小・中学生 500円 (展示観覧料含む)

\* チケット提示で企画展もご覧いただけます。

### チケット発売開始日

1月の上映作品: 12月5日(土)

2月の上映作品: 1月16日(土)

3月の上映作品: 2月2日(火)

\* 作品により映像・音声必ずしも良好でない場合があります。場合によっては上映素材・作品の変更がありますことをご了承ください。

# Screening Schedule

1月	関連上映 <b>バレエ映画の世界</b> チケット発売日 2020.12.5 (土)	11 (月・祝)	10:30 ロミオとジュリエット (95分)	14:00 赤い靴 (136分)		
		12 (火)	休館日			
		13 (水)	10:30 赤い靴 (136分)	14:00 トークイベント ゲスト：鈴木 晶さん		
		14 (木)	10:30 ロミオとジュリエット (95分)	14:00 赤い靴 (136分)		
		15 (金)		14:00 ロミオとジュリエット (95分)		
		16 (土)		14:00 ロミオとジュリエット (95分)		
		17 (日)	10:30 ロミオとジュリエット (95分)	14:00 ロミオとジュリエット (95分)		
		19 (火)	10:00 パリ・オペラ座のすべて (160分)	14:00 ダンシング・ベートーヴェン (83分)		
		20 (水)	10:30 ダンシング・ベートーヴェン (83分)	13:30 パリ・オペラ座のすべて (160分)+上映解説		
		21 (木)	10:00 パリ・オペラ座のすべて (160分)	14:00 ダンシング・ベートーヴェン (83分)		
		22 (金)	10:30 ダンシング・ベートーヴェン (83分)	14:00 パリ・オペラ座のすべて (160分)		
		23 (土)	10:00 パリ・オペラ座のすべて (160分)	14:00 ダンシング・ベートーヴェン (83分)		
		24 (日)	10:30 ダンシング・ベートーヴェン (83分)	14:00 パリ・オペラ座のすべて (160分)		
		2月	関連上映 <b>バレエ映画の世界</b> チケット発売日 2021.1.16 (土)	2 (火)	10:30 バレエ・ボーイズ (75分)	14:00 ホワイト・クロウ 伝説のダンサー (127分)
				3 (水)	10:30 ホワイト・クロウ 伝説のダンサー (127分)	14:00 バレエ・ボーイズ (75分)
				4 (木)	10:30 バレエ・ボーイズ (75分)	14:00 ホワイト・クロウ 伝説のダンサー (127分)
				5 (金)	10:30 ホワイト・クロウ 伝説のダンサー (127分)	14:00 バレエ・ボーイズ (75分)
6 (土)	10:30 バレエ・ボーイズ (75分)			14:00 ホワイト・クロウ 伝説のダンサー (127分)+上映解説		
7 (日)	10:30 ホワイト・クロウ 伝説のダンサー (127分)			14:00 バレエ・ボーイズ (75分)		
9 (火)	10:30 イサドラの子どもたち (84分)			14:00 モスクワわが愛 (93分)		
10 (水)	10:30 モスクワわが愛 (93分)			14:00 イサドラの子どもたち (84分)		
11 (木・祝)	10:30 イサドラの子どもたち (84分)			14:00 モスクワわが愛 (93分)		
12 (金)	10:30 モスクワわが愛 (93分)			14:00 イサドラの子どもたち (84分)		
13 (土)	10:30 イサドラの子どもたち (84分)			14:00 モスクワわが愛 (93分)		
14 (日)	10:30 モスクワわが愛 (93分)			14:00 イサドラの子どもたち (84分)		
16 (火)				14:00 フェリシーと夢のトウシューズ (89分)		
17 (水)				14:00 フェリシーと夢のトウシューズ (89分)		
18 (木)	10:30 ポリーナ、私を踊る (108分)			14:00 フェリシーと夢のトウシューズ (89分)		
19 (金)	10:30 フェリシーと夢のトウシューズ (89分)			14:00 ポリーナ、私を踊る (108分)		
20 (土)	10:30 ポリーナ、私を踊る (108分)			14:00 フェリシーと夢のトウシューズ (89分)		
21 (日)	10:30 フェリシーと夢のトウシューズ (89分)			14:00 ポリーナ、私を踊る (108分)		
23 (火・祝)				14:00 トークイベント ゲスト：川島京子さん		
3月	振替上映 <b>昭和を彩る女優たち 松竹大船撮影所物語</b> チケット発売日 2021.2.2 (火)			2 (火)	10:30 幸福の黄色いハンカチ (108分)	14:00 男はつらいよ (91分)
				3 (水)		14:00 幸福の黄色いハンカチ (108分)
				4 (木)		14:00 男はつらいよ (91分)
				5 (金)		14:00 幸福の黄色いハンカチ (108分)
		6 (土)		14:00 男はつらいよ (91分)+上映解説		
		7 (日)	10:30 男はつらいよ (91分)	14:00 幸福の黄色いハンカチ (108分)		
		9 (火)	10:30 砂の器 (143分)	14:00 砂の器 (143分)		
		10 (水)		14:00 砂の器 (143分)		
		11 (木)		14:00 砂の器 (143分)		
		12 (金)	10:30 砂の器 (143分)	14:00 砂の器 (143分)		
		次世代シネマセレクション	13 (土)	10:30 僕はイエス様が嫌い(英語字幕付き上映/76分)	14:00 僕はイエス様が嫌い(英語字幕付き上映/76分)★	
		チケット発売日 2021.2.2 (火)	14 (日)	10:30 僕はイエス様が嫌い(英語字幕付き上映/76分)	14:00 僕はイエス様が嫌い(英語字幕付き上映/76分)	

★奥山大史監督によるアフタートークあり



## Kamakura City Kawakita Film Museum 鎌倉市川喜多映画記念館

〒248-0005 神奈川県鎌倉市雪ノ下2-2-12  
<https://www.kamakura-kawakita.org>

**0467-23-2500**

開館時間 9:00~17:00 (入館は16:00まで)  
 休館日 月曜日 (2021年1月11日は開館)  
 2020.12.29 (火)~2021.1.3 (日)、1.12 (火)

●鎌倉駅より徒歩8分

●駐車設備がありませんので、公共交通機関をご利用ください。

主催：川喜多・KBSグループ (鎌倉市川喜多映画記念館指定管理者)

※入館時、館内での感染予防対策にご協力ください。

※席数、入館時間等は状況により変更する場合がございます。詳しくはお問合わせください。



### 展示解説 / 上映解説

展示の見どころと上映作品の解説を  
 学芸員が映像資料室で実施します。  
 (要企画展観覧料)

#### 展示解説

2020.12.26 (土)、  
 2021.1.30 (土)、2.28 (日)  
 各日 14:00~ (約40分)

#### 上映解説

2021.1.20 (水)、2.6 (土)、3.6 (土)  
 各日午後の上映終了後